

## トップメッセージ

# 「水と生きる」企業として、 「水のサステナビリティ」の実現に取り組みます



2008年は、世界が大きく転換した年として記憶されることになるでしょう。京都議定書で各国に定められた温室効果ガス削減の約束期間が始まり、洞爺湖におけるG8サミット最大のテーマとして「地球温暖化」が取り上げられます。今こそ、地球環境の保全のため、人類が手を携えて気候変動に立ち向かわねばならない。その決意が世界中で語られるようになり、大きなうねりとなって動き始めました。

「水と生きる」というコーポレートメッセージを掲げるサントリーは、事業の基盤である水という貴重な資源に対して真摯に向き合い、水および水を育む自然環境と共生していくことをめざして、企業活動を推進しています。

サントリーは従来から環境保全のためにさまざまな活動を続けてまいりましたが、私は持続可能な地球環境の実現に寄与するため、今こそ「環境」という視点を経営の柱の一つに据え、バリューチェーンのすべてを「持続可能性」という視点で見つめ直すことが必要であると考えております。サントリーにとって最も重要なテーマは、「水のサステナビリティ」を実現することです。地球規模の水の循環の一部を担う企業として、その役割とそれにとまなう責任を絶えず意識し、水の循環への負荷軽減に努めるために、水を育む森を守る活動、水を大切に使い、限りなくきれいにして自然界に還す活動を強化してまいります。

### 企業理念

人と自然と響きあう

### 社是

人間の生命の輝きをめざし  
若者の勇気に満ちて  
価値のフロンティアに挑戦しよう

日々あらたな心  
グローバルな探索  
積極果敢な行動

企業理念：1989年制定  
社是：1973年制定

### 全員参加で「飲用時品質」の向上に努めます

昨年、食品業界ではさまざまな事件、不祥事が続発し、お客様の「食の安全・安心」に対する意識はますます高まってまいりました。さらに、ライフスタイルの変化や健康志向の流れと相まって、お客様がお求めになる「品質」も、ますます高度化、多様化しています。

サントリーは品質こそがメーカーの原点であり、最も基本的な責務であると認識し、「All for the Quality」をグループ品質方針に掲げ、原料調達から製造工程、さらには流通を経てお客様に商品が届くまでの過程を通じて、品質の保証に万全を期しております。

安全・安心な商品を提供することはもちろんのこと、お客様に飲んでいただく場面における“おいしさ”までを保証する「飲用時品質」の向上に全社一丸となって取り組んでまいります。

そのためには、商品開発から営業の第一線まで、すべての業務において「All for the Quality」の精神を徹底するとともに、お客様の声をしっかりと受け止め、的確に企

業活動へフィードバックさせていくというサイクルを回し続けていくことが必要だと考えています。

### もてる力を活かし、社会に潤いを与える 存在となることを追求し続けます

昨年3月、40年余の歴史をもつ「サントリー美術館」を東京・六本木に移転、新しい「サントリー美術館」をオープンいたしました。年間で70万人を超えるお客様にご来館いただき、そのコンセプトである「生活の中の美」をお楽しみいただくことができました。また、開館から20年を経た「サントリーホール」も全面的な改修を行い、「音の宝石箱」とも評価される響きの良さはそのままに、ユニバーサルデザインの考え方に基づいて、聴衆もアーティストも従来以上に快適に過ごせる音楽空間に生まれ変わりました。利益の一部を社会に還元するのも事業活動の一環である、という創業者・鳥井信治郎の信念、すなわち「利益三分主義」の精神は、サントリーのCSR経営を支える重要な柱の一つとして進化しながら受け継がれています。

1899年の創業以来、代々の経営者が取り組んできたさまざまな社会貢献に加えて、私は、さらに新たな社会貢献にも取り組んでまいりたいと考え、次世代育成支援の活動を開始いたしました。ビールや天然水工場の水源エリアに展開している水源涵養林「天然水の森」を中心とする舞台で、子どもたちが自然と触れ合う中で水を育む森の大切さを学んでもらう「森と水の学校」、あるいは美術館やホールで行うエデュケーション・プログラムなど、次代のわが国を担う子どもたちが、心身ともに健やかに育っていただけるように、サントリーがもつ多彩な経営資源を活かしたキッズ・プログラムを展開しています。お客様から信頼され、愛され、選ばれる企業となるために、これからもサントリーがもてる力を社会のお役に立つようなかたちで展開し、社会に潤いを与えるような存在となることを一貫して追求してまいります。

### 社員一人ひとりの「やってみなはれ」を 力にしていきます

サントリーには、社員のチャレンジする姿勢を尊ぶ「やってみなはれ」の精神が受け継がれています。社員一人ひとりが自ら目標となる旗を掲げ、さまざまなことを考え抜き、仕事の質を高めていく—このことがそれぞれの社員の可能性を広げるとともに、その集積した力が社会にお

けるサントリーグループの可能性を広げていくのです。サントリーグループに集う社員が皆、それぞれの個性と能力を存分に発揮し、「やってみなはれ」を実践してもらえるように、会社としてさまざまな支援を行っていきたいと考えています。

今日、人類の健康で心豊かな生活と地球環境の持続可能性とを調和させるべく努力することは、政治や経済に関わるあらゆる人間の責務となったといっても過言ではありません。

刻々と変化する世界にあって、常にめざすべき方向を見失わず、たゆまぬ努力を積み重ねていくことが求められています。時代の変化のスピードが増す中で、サントリーがその存在理由を失わず、輝き続けるためには、お客様・社会と響きあいながら、真に人々や社会から信頼され、選ばれる、価値ある企業であり続けなければならない、と考えています。

「人と自然と響きあう」という企業理念に基づいて、持続可能な社会の実現に貢献できますよう、これからも、ステークホルダーの皆様のお声に耳を傾けながら、着実に、誠実にCSR経営に取り組んでまいります。今後ともご支援ご指導賜りますよう、よろしく願い申し上げます。



2008年6月  
サントリー株式会社 代表取締役社長

佐治信忠